

病害虫発生予察情報

11月月報

平成 14 年 12 月 10 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況

2002 年 11 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	15.3	-2.5	3.7	-5.1	9.3	-3.8	3	10	64.6	122
中旬	14.8	-1.3	6.2	-0.5	10.2	-1.0	0	0	44.8	94
下旬	13.5	-0.5	5.0	0.3	9.0	-0.2	26	67	40.3	77
平均	14.5	-1.5	4.9	-1.8	9.5	-1.7				
合計							29	31	149.7	97

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気温：上旬は平年よりかなり低く、中・下旬はやや低かった。

降 水 量：上・中旬は平年よりかなり少なく、下旬はやや少なかった。

日照時間：月を通じてほぼ平年並であった。

<天候概況>

上旬：1日に雨が降った他は冬型の気圧配置となり、晴れた日が多かった。

中旬：14日までおよび18日は晴れたが、他は曇の日が多かった。

下旬：曇の日が多く、25日は雨となった。26日以降は冬型の気圧配置となり、晴れた日が多かった。

2 作物生育概況

(1)野 菜 類

葉菜類：施設のコマツナ、ホウレンソウは概ね順調に生育したが、露地栽培では低温の影響により全般的に生育は遅れた。また一部では、台風による影響もあわせ、ホウレンソウの作柄は悪かった。キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー等についても、低温の影響により、結球や出蕾が遅れる傾向にあった。

根菜類：ダイコン、ニンジン等の生育は低温や乾燥の影響で根の肥大が遅れる傾向にあった。

(2)果 樹

カキ：次郎、富有の着色は良好であり、収穫盛期は平年並であった。

その他：特記事項なし

3 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

特記事項なし

(2) 野菜の病害虫

トマト(施設・抑制)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー

黒腐病	< 並 >	発生は平年並であった。
軟腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ハクサイ

軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン

モザイク病	< 並 >	発生は平年並であった。
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
シロオビノメイガ	< やや多 >	発生はやや多かった。

ネギ

さび病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヤサイゾウムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3)花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病

< 少 >

発生は少なかった。

シクラメンホコリダニ

< 並 >

発生は平年並であった。

(4)島しょの病害虫

特記事項なし

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報,発生状況,防除方法
などをお知らせしています。